

## マニユライフ生命、 15カ所目の「マニユライフわくわくる一む」寄贈先として 大阪急性期・総合医療センターを選出 子どもの心身の健やかな成長を支援する社会貢献活動

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、社会貢献活動の一環として、小児医療施設で療養中の子どもたちのためのプレイルーム「マニユライフわくわくる一む」の設置と、「子どもの療養環境向上アイデア」への助成を行なっています。このたび、2017年の募集・選考を行なった結果、マニユライフわくわくる一むの寄贈先として大阪急性期・総合医療センター(大阪府)、アイデアの助成先として船橋市立医療センター(千葉県)、総合大雄会病院(愛知県)、一宮医療療育センター(愛知県)、島根大学医学部附属病院(島根県)の4施設を選出しました。

マニユライフわくわくる一むプロジェクトは、療養環境として十分な機能を果たす本格的なプレイルームを全国の小児医療施設等に設置する活動です。子どもたちが受ける治療によるストレスを軽減するためには、家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他の子どもたちとの関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など、療養環境の充実が不可欠です。マニユライフ生命は、わくわくる一むの設計、内装、家具、おもちゃ等のほか運営面も含めて、細部に至るまで専門家の意見が反映された部屋作りを支援しています。これまでに全国14カ所の設置実績があります。

15カ所目のマニユライフわくわくる一む寄贈先として選出された大阪急性期・総合医療センターでは、2018年4月に小児病棟の移転を予定しています。移転先となる「大阪府市共同住吉母子医療センター(仮称)」の開設に伴い、保育士を増員し運営体制を強化すること、また、移転に合わせて病院スタッフと共同で壁紙など内装の選定を行い、これに調和した家具やおもちゃなどをそろえてマニユライフわくわくる一むとして一体的に整備できるため、2017年の寄贈先に決定しました。

また、これまでに全国の小児医療施設から寄せられた85件の「子どもの療養環境向上アイデア」が助成を受けており、このたび新たな助成先として選出された4施設においても、アイデアを実現することで療養環境の一層の充実が図られます。助成先とその内容に関する詳細は別紙をご参照ください。



国際医療研究センター(東京都)で2017年11月に開所したマニユライフわくわくる一む

マニユライフ生命は、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

### 子どもの療養環境改善活動について

「マニユライフわくわくる一む」の寄贈および「子どもの療養環境向上アイデア」への助成は、マニユライフ生命が特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」とともに継続的に行なっている活動です。2015年には子どもの健全な成育環境の向上への寄与が認められ、「こども環境学会賞活動奨励賞」を受賞しています。



<別紙>

■2017年「マニュアルわくわくの一む」寄贈先

施設名(所在地)	概要
大阪急性期・総合医療センター(大阪府)	小児病棟には0歳から15歳までの子どもが入院しており、約8割が急性期の患者であるが、中長期的な入院を余儀なくされている子どもも少なくない。既存のプレイルームにはおもちゃや絵本などがあるものの、子どもの発達段階に応じた遊びを提供するには充分ではない。 大阪急性期・総合医療センターの小児病棟は、小児・周産期の医療を提供する「大阪府共同住吉母子医療センター(仮称)」に新築移転し、2018年4月に開院予定。壁紙など内装の選定を行い、これに調和した家具やおもちゃなどをそろえ、マニュアルわくわくの一むとして一体的に整備するとともに、保育士を増員し運営体制を強化することにより、子どもにさまざまな遊びを提供できる新しいプレイルームを目指す。

■2017年「マニュアル生命子どもの療養環境向上アイデア」助成先

施設名(所在地)	概要
船橋市医療センター(千葉県)	「さあ、選ぼう！どれにする??」 少しでも入りやすい雰囲気のある病棟処置室となるよう、おもちゃを飾る棚を設置し、海をイメージした壁面装飾を施す。子どもがおもちゃを選べる機会が増えるよう内装に配慮するだけで、親にも子どもにも良い影響があること、また、病院として小児の療養環境の重要性を再認識する機会とし、近い将来に予定されている移転時の設計にいかすことも目的の一つとしている。
総合大雄会病院(愛知県)	「待ち時間なんて気にならない！～子どもたちが安心して過ごせるプレイコーナーを目指して～」 2016年に、看護師や保育士など小児病棟のスタッフが外来スタッフと一元化されたことから、診察室、処置室、待合室などの見直しを行なった。プレイコーナーについても、創作家具で囲まれた外来プレイコーナーの床の模様替え、おもちゃの充実を図ることで、小児外来を訪れる子どもの心理的・肉体的不安を少しでも和らげ、安心して待機できるプレイコーナーを目指し改善を行う。
一宮医療療育センター(愛知県)	「日々ハビリテーションに励む子どもたちに、穏やかな活動空間提供をめざして」 ホワイトボード一体型インタラクティブプロジェクターを導入し、障がいのある子どもたちに体験型の遊びを提供できるよう映像ソフトの開発を行う。ハビリテーションを行う、子どもたちの発達年齢に見合った画像を用いて、視覚・聴覚刺激を中心に楽しめる遊びと、穏やかな時間を提供する。障害特性に配慮した、操作が安易なタッチ機能を採用することで、体験型の遊びへの参加を促す。
島根大学医学部附属病院(島根県)	「病気だって遊びたい！プレイルームで心も体も元気になろう！」 小児病棟内でのプレイルーム移転に伴い、乳幼児から青年期の子どもたちが楽しめて、重症度が高い長期入院の患児の治療の励みになるようなプレイルームを、子どもの視点で計画立案する。医療保育専門士、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、保育士を中心に、NPO「子ども健康フォーラム」とで運営を見据えた計画を行う。看護師、医師などをはじめとする多職種のチーム力が発揮できるように働きかけていく。



参考:「マニユライフわくわくる一む」設置実績(2017年12月現在)

	施設名(所在地、選考年)	概要(完成年)
1	近畿大学医学部附属病院(大阪府、2007年)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
2	豊田厚生病院(愛知県、2007年)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府、2008年)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県、2008年)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道、2009年)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府、2009年)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県、2010年)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県、2011年)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都、2012年)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県、2012年)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県、2013年)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府、2014年)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県、2015年)	わくわくる一む初となる屋外スペースを含むプレイルームを(2017年)
14	国立国際医療研究センター(東京都、2016年)	既存の楕円形プレイルームを生かした、ユニークなプレイルーム(2017年)
15	大阪急性期・総合医療センター(大阪府、2017年)	2018年4月の小児病棟移転に伴い、マニユライフわくわくる一むとして一新したプレイルームを2018年中にオープン予定。

**特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について**

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けています(ホームページ <http://www.npo-cln.com/>)。

**マニユライフ生命について**

マニユライフ生命は、130年の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の3つの販売チャンネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています(ホームページ [www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp))。

